

まめってえ通信

第7号

平成22年10月15

発行
NPO法人
まめってえ鬼無里
住所 長野市鬼無里
日影 4258-1
電話 050-3736-6218
FAX 020-4622-9939
毎月1回ぐらい発行
URL <http://www.kinasa.net>
mail mamettee@kinasa.net
まめってえ鬼無里

この秋、ひとつの大きなプロジェクトが動き出します！

「環境に優しい移動手段による持続可能な中山間地域活性化」という企画で補助金申請を行い、研究開発していくプロジェクト(プロジェクト名「きなざぎんち」)がスタートすることになりました。

この補助金は、独立行政法人・科学技術振興機構という組織の一部である「社会技術研究開発センター」が提起した「地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会」という課題への取り組みに対するもので、正確には「委託研究費」と言うそうです。49件の申請中7件採択され、そのうちのひとつに私たちの企画が選ばれました。

この補助金を申請するにあたって、関係者の皆様に多大なるご尽力をいただき、この場をお借りして深く御礼申し上げます。

成果がすぐに目に見える...というのはきつと難しいことだと思います。そして迷走することもあるかもしれません。正直、そんな不安も抱えてはいますが、今は「一歩踏み出せた」とい何よりも喜びを感じています。

鬼無里の長所・短所を浮き彫りにし、実際の開発に役立つように、研究していきます。

先にご連絡したように、今月末に国際ワークショップを行い、詳しい内容を直接ご案内いたします。会員や地域の皆様と、共にスタートラインに立ち、プロジェクトの成功を目指したいと思っております。

～どんなことをしていくの?～

その5 「学術・文化・芸能またはスポーツの振興を図る活動」

簡単に説明してしまうと前回と似ています。環境を保全し地域を活性化する中で、鬼無里で大切にしてきた「文化」を守ることが、住み良い地域作りに役立ち、「学術」「芸能」「スポーツ」の振興を図れたら住み良い上に、「ずっと住んでいたい」と思えるのでは?と考えました。

現在取り組んでいるものとしては、『ジム☆キッズ』という幼児体育教室があります。これは、いわゆる「保育園の体育」です。鬼無里村時代に村営の保育園で行っていた事業ですが、市との合併とともに廃止になりました。それを、当時の体育指導者が「鬼無里に残したい」と個人で経営し、ずっと守ってくれていたものです。少子化に伴い生徒数が減少したことで、個人経営からまめってえ鬼無里で引継ぎ、現在に至ります。

「文化」については、この少スペースでは書ききれないほどお伝えしたいことが沢山あります。そもそも鬼無里の地名の成り立ちからして面白い伝承があります。

まだどのような形で「振興を図って」いけるのか模索中ですが、いろいろな形で、地区内にも外にもむけて、活動していきます。



11月のイベント案内 (他団体主催)

- 1日 奥裾花自然園閉園(冬期のため)
 - 3日 ※第20回鬼無里ランランカーニバル
 - 20日※ロハス茸菜里秋の交流会・きのご祭
 - 28日 第8回鬼無里市開催
 - 28日 ※料理講習会「箱膳を囲んで」
講師:池田玲子氏
- ※マークはそれぞれ申し込みが必要です。

くいろは堂 ギャラリー情報>

- 10月27日～11月15日
徳永陶子 絵画
 - 11月17日～12月6日
朝比奈克文 陶芸
- (2010年のギャラリー終了)



10・11月のスケジュール

- 10月30日am10:00～ 31日
『きなざごち』第1回国際ワークショップ
「これからの こちよい鬼無里を考える」
- 11月13日 am10:00～(同時開催)
『きなざのごはん』秋のランチ会
「えごまくらぶ・だいずくらぶ」収穫祭
場所:ふっとうっど
くらぶで収穫した大豆を使って「豆腐作り」

落葉の腐葉土を作って
野菜を育ててみよう
理事 米山 康利

昨年秋に、妻と近くの林道に行き、軽トラック3台分の落葉を拾い集めました。

稲ワラをエンジンカッターで切り刻み、水と落葉を混ぜながら積み上げていき、上にビニールシートを掛け、そのままにしておくこと1週間ぐらいで発熱します。発熱したらビニールシートを取り、そのまま冬を越します。春に2度切り返し、5月下旬、野菜苗を植えつけるまで置きます。

気温が上がってきて、野菜苗の植え付けの時期、苗床づくりをします。丸なす、長なす、ピーマン、パプリカ、ブロッコリー...

なす床は、スジ状にスコップで30cmくらい掘り、その中に積みおきた腐葉土をやや厚め(15cmぐらい)に敷きつめ、その上にナタネ粕5kgと腐葉土を混ぜたものを10cmかけます。さらに市販の醗酵タネ粕3kgをうねの上にもぎ、土をかけるのが家流のなす床の完成です。今年は、丸なす5本、長なす5本、水なす2本植えました。

同じように他の野菜も植え、追肥には2リットルのペットボトルになたね粕100gと水を入れ、10日ぐらいで出来る液肥の原液を千倍に薄めたものを、野菜の根元にあげます。

今年猛暑で少雨でしたが、腐葉土のおかげで9月の下旬を過ぎても収穫できました。いつもの年ですと、8月の終わりになると下葉が落ち収穫量も少なくなります。来年は貝化石(有機石灰)とレンゲの緑肥にも挑戦してみようと思っております。